

「クールジャパン人材育成検討会 論点整理（資料1 - 1）」 概要

1 プロデュース人材

クールジャパン産業の中核を担う人材として、クリエイターの作品の質や意図を理解し、目利きできる「専門スキル」と、その作品をビジネスとして展開することのできる「ビジネススキル」の両方を有する人材。

（主な論点項目（P4））

- 専門職大学・専門職短期大学関連
教員の柔軟な登用、教育の内容、産業界と連携した教育課程の開発・連携・実施、専門分野の特性に応じた評価、社会人が学びやすい仕組み、等
- ミドルキャリアでプロデュース人材としての資質を高める民間等における（コンテンツ企業等の専門人材などを対象とする）人材育成の取組の後押しについて
- 国際的なネットワークを持ち、優れた人材を引き付ける株式会社等で運営されるファッション等分野の教育機関について

2 高度経営人材

産業の新たな価値の創出や労働生産性の向上を実現し、クールジャパン関連産業持続的に発展していくため、産業をけん引できる人材

（主な論点項目（P6））

- 観光や食の分野で設置が進みつつある高度経営人材育成機関で教育を受けた人材が、クールジャパン関連産業で有効活用されるために必要なこと
- 専門職大学院について、教員登用の在り方や産業界との連携等の在り方
- 海外の食、観光、ファッション等の経営人材等育成機関との連携について（例：CIA、イタリア食科学大学、コーネル大学）

3 高度デザイン人材

製品・サービス開発において、局所的な意匠の改善を越えて、ユーザー体験を念頭に、設計から値付け・販路等までその全体についてデザインできる人材

（主な論点項目（P8））

- デザイン分野の教育機関同士、デザインと他分野の内外教育機関同士の連携・ネットワーク構築支援
- 高度デザイン人材の育成を目的とした教育カリキュラムの策定支援について

4 専門人材

クリエイター、料理人、デザイナー等「専門スキル」を有する人材

(主な論点項目 (P9))

- 教育機関と業界団体等が連携し、教育機関における産業ニーズに即した人材育成を目指す取組の支援
(例：動画協会「アニメ人材パートナーズフォーラム」)
- 高等教育以前のゲーム等を含むクールジャパン産業への就業意欲や社会認知を高める取組の重要性
- クリエイターの育成や発表の場を提供する取組等の充実の必要性

5 外国人材の活用

クールジャパン関連産業の海外展開やインバウンド対応等をリードあるいはサポートするクールジャパン人材として、日本と海外の両方においてクールジャパンの提供基盤や市場拡大を支える存在。

(主な論点項目 (P12))

- 日本の大学や専門学校等を卒業した外国人がクールジャパン人材としての役割を果たす上での、日本における就業経験の重要性
- クールジャパン産業を目指す者が、就学や留学を経て日本や海外において就業し、キャリアを発展させていけるよう、キャリアチェーンが確保されていることの重要性
- 内外のトップスクール間の連携に携わる外国人の高度人材による「高度人材ポイント制」の活用による受け入れ推進について
- 国家戦略特区におけるクールジャパン外国人材の受け入れや海外における外国人材の育成の取組等のフォローアップ・推進

6 地域プロデュース人材

地域のクールジャパン資源を発掘し、それを集積・編集して新たな価値を付与(キュレーション)することを通じ、海外で受け入れられるような「商品」になるようプロデュースできる人材

(主な論点項目 (P14))

- 地域の教育機関等に対する、地域活性化・地域資源発掘・プロデューススキルを実地体験で学ばせる取組の奨励(和歌山大学観光学部を例示)
- 社会人に対して地域づくりのノウハウを学ぶ機会を提供する取組み
(例：丸の内朝大学)
- 地域プロデュース人材育成のモデルプログラム確立について

(以上)